

新聞投稿・アンケート調査結果

リニア中央新幹線建設に「待った！」の声！

7月27日の新聞紙上に、リニア建設の凍結を望む声が投稿されました。世界経済の激変、東日本大震災、エネルギー政策の見直しなど、未曾有の変動期にゴーサインを出すことに違和感を唱えています。更に自然環境、健康への影響、建設費問題などに対し、納得いく説明がされていないと主張しています。私たちが訴えていることと共通する主張です。

さらに、先日、市民団体が行ったシンポジウムでのアンケート調査においても、アンケートに回答した94%の方が、リニア中央新幹線は、「必要ない」と回答していることが明らかになりました。まさに、現状にマッチしていない事業であることを、多くの国民が感じつつあるのではないのでしょうか。

市民団体実施のアンケートでも、「必要ない」との回答が九四%！

3年)7月27日 水曜日 12版▲ オピニオン 10

7月27日朝日新聞朝刊

Voice 声

復興までリニア建設の凍結を

無職 高田 信也

(東京都世田谷区 84)

大震災の復旧復興と福島第一原発事故の収束に国をあげて取り組んでいるさなかにリニア新幹線の建設がスタートした。この基本計画は半世紀も昔の高度経済成長期に策定された。その後、バブルの崩壊、リーマンショック以降の世界経済の情勢変化があり、国の累積債務も大きく膨らんだ。さらに原発事故に伴い、エネルギー政策の見直しまで議論されている。そんな未曾有の変動期なのに、大昔の計画に十分な検討がなされないまま政府内でゴーサインが出された。強い違和感を覚える。

現在、新幹線の東京―大阪、

東京―名古屋の所要時間はそれぞれ、2時間半と1時間半程度だ。それがリニアで約半分に短縮されるという。だが、アルプスの土手っ腹をぶち抜き、美しい里山や山河を破壊してまで強行する価値があるだろうか。リニアの安全性や、発生する強力な電磁波が及ぼす沿線住民の健康への影響についても納得いく説明がなされたとは言えない。建設費も問題だ。JR負担分で8兆円を超え、駅建設の自治体負担もある。この種の建設費は予想より膨らむ可能性もある。震災復興のために増税も検討している時なのだ。復興が軌道に乗るまでリニア建設は凍結するのが良識ある判断だろう。